

全国福祉保育労働組合  
33回定期全国大会



各地で争議をたたかう組合員が発言—23日、東京都千代田区

# 国民要求と一体で

## 福祉保育労大会 職場改善へ運動

全国福祉保育労働組合とをのべました。「福祉（福祉保育労）の第二十三回定期全国大会が二十三日、東京都千代田区内で始まり、二日間の日程。茂木初子委員長が開会あいさつ。後期高齢者医療制度の一部負担凍結への動きなど医療・福祉への動きなど国民の運動の力によるものであることを強調。厚労省交渉やほかが必要請、宣伝署名行動などの運動で七月末に、前指針より内容が前進した「福祉人材確保基本指針」を決定させたこと

とをのべました。「福祉（福祉保育労）の第二十三回定期全国大会が二十三日、東京都千代田区内で始まり、二日間の日程。茂木初子委員長が開会あいさつ。後期高齢者医療制度の一部負担凍結への動きなど医療・福祉への動きなど国民の運動の力によるものであることを強調。厚労省交渉やほかが必要請、宣伝署名行動などの運動で七月末に、前指針より内容が前進した「福祉人材確保基本指針」を決定させたこと

とをのべました。「福祉（福祉保育労）の第二十三回定期全国大会が二十三日、東京都千代田区内で始まり、二日間の日程。茂木初子委員長が開会あいさつ。後期高齢者医療制度の一部負担凍結への動きなど医療・福祉への動きなど国民の運動の力によるものであることを強調。厚労省交渉やほかが必要請、宣伝署名行動などの運動で七月末に、前指針より内容が前進した「福祉人材確保基本指針」を決定させたこと

とをのべました。「福祉（福祉保育労）の第二十三回定期全国大会が二十三日、東京都千代田区内で始まり、二日間の日程。茂木初子委員長が開会あいさつ。後期高齢者医療制度の一部負担凍結への動きなど医療・福祉への動きなど国民の運動の力によるものであることを強調。厚労省交渉やほかが必要請、宣伝署名行動などの運動で七月末に、前指針より内容が前進した「福祉人材確保基本指針」を決定させたこと

### 働き続けられる職場を

#### 福祉保育労大会が閉会

二十三日から東京都千代田区内で開かれていた全国福祉保育労働組合（福祉保育労）第二十三回定期全国大会が二十四日、閉会しました。討論では、福祉労働者の生活と権利を守る働き続けられる職場づくりへ奮闘する各分会・支部の活動が交流されました。「全国の青年職員のつどい」など七年間のつどいみが爽り、八月十九日に青年部を結成しましたと発言、大きな拍手をあげたのは、大阪の知的障害者入所施設で働く寺田

将士さん（三〇）青年部長です。「やりがいのある温かい仕事と頑張りつつも、劣悪な労働条件のもと、やむなく去る仲間がいる。青年の要求実現のため立ちあがっていきたくて決意をのべました。東京地本の代議員は、低賃金など劣悪な労働条件によって民間社会福祉施設で職員の確保が困難となっており、現状を発言。「職場への思いや生活の状況を職場の仲間とじっくり語り合うことを大切にして、職場の実態レポートや都への要請など秋の行動をすすめていく」と話しました。

二〇〇七年度運動方針針、大会宣言と、利用者・家族・経営者と共同しての実効ある人材確保対策実現をよびかけた特別決議などを採択しました。運動方針は、福祉労働者の中の組合の拡大・強化▽労働者・国民の生活改善の運動と連帯した賃金・労働条件、雇用改善運動▽憲法改悪阻止、増税反対など国民生活擁護の運動などを盛り込んでいます。

選出されたおもな役員は次の通り。（敬称略）  
▽委員長―前田鉄雄（新）▽書記長―泉谷哲雄（再）

9/24  
赤旗 24

9/25  
赤旗 25